

WEEKLY REPORT

一宮中央
Rotary 

2021～2022年度 RIテーマ
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
地区活動方針「チェンジロータリー 新時代への成長に！」
～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

THE ROTARY CLUB OF ICHINOMIYA CENTRAL

- 創立1990年10月31日 ●承認1990年11月16日 ●事務局 〒491-0858 一宮市栄4丁目6番8号 一宮商工会議所ビル5F
- 例会日時 毎週水曜日(PM6時～7時) TEL 0586-24-1959 FAX 0586-71-4390
- 例会場 一宮商工会議所ビル3Fホール E-mail: icrc@alpha.ocn.ne.jp URL: http://www.138crc.com
- ◇会長 尾関一之 ◇会長エレクト 秋田敬治 ◇副会長 内田泰潤徳 ◇幹事 野田義広 ◇クラブ会報委員長 鶴飼俊光

令和3年10月20日(水)

第1439回(当年度第14回)例会

本日のプログラム

卓話
「地区補助金事業・経過報告」
国際奉仕委員会
委員長 山田 満君

第1438回例会(当年度第13回の記録)

- 令和3年10月13日(水) 18:00～19:00
- 会場 一宮商工会議所ビル3Fホール
- 開会の点鐘 尾関会長
- ロータリーソング「我等の生業」
- ビジター 鳩山 佳江様(一宮北RC)
- 会長挨拶

尾関 一之



本日のお客様は、地区防災対策委員会委員の鳩山佳恵様です。一宮北ロータリークラブ所属です。南海トラフ巨大地震に備えてと題しまして卓話いただきますが、最近、全国各地で頻発に地震が発生しておりまして、今日はタイムリーな話が聞けるのではと期待いたしております。

さて先週、井上雅樹君に理事1名の補填依頼のためご自宅を訪問いたしました。脊髄から菌が侵入し肺炎を引き起こし、一時、大変な状況であったとお聞きしました。現在は、リハビリの為、歩行訓練に励む毎日ですと試してみえました。診察業務も11月頃から始めると試してみえましたので例会には11月くらいから来ていただけるのではないかとご推察いたします。良い話でありましたので、皆様にご報告いたしました。本日も楽しい例会をお楽しみください。ご清聴ありがとうございました。

出席 報告	会員総数	44名	
	出席会員数	27名	61.36%
	他クラブ出席数	0名	
	修正出席率	前々回(9/19)	100%

ロニコボックス(ABC順)

- ☆鳩山佳恵様 本日は、防災委員としての卓話デビューです。あたたかい目で見守って下さい。しかし、地震への備えだけは、しっかりとお伝えしたいです。お呼び頂き、ありがとうございました。
- ☆伴 卓樹君 例会に出席できたので。
- ☆猪子裕史君 松本さん、先日はありがとうございました。
- ☆猪子裕史君 鳩山さん、一宮中央ロータリーによる。本日は宜しくお願いたします。
- ☆松前憲典君 今日、一宮北RCの鳩山佳恵さんが地区防災対策委員会の委員としてスピーチされます。心からご歓迎すると同時にご活躍を祈念致します。
- ☆松本正暢君 例会に出席できたので。
- ☆宮田浩二君 鳩山先生、本日はありがとうございました。
- ☆森俊一郎君 鳩山さん、卓話よろしくお願いたします。
- ☆永田 正君 鳩山様、本日は御多用の中をようこそお越し下さいました。いつ起きるかわからない災害に備え今日はしっかりと勉強させて頂きます。よろしくお願致します。
- ☆野田義広君 鳩山佳恵様、本日は卓話よろしくお願いたします。
- ☆大野ひろみ君 鳩山佳恵様、本日は卓話楽しみにしています。よろしくお願いたします。
- ☆尾関一之君 鳩山佳恵様、本日は宜しくお願いたします。
- ☆佐藤祐造君 コロナ感染症患者数は減少していますが、引き続き予防対策を守りましょう。

*** 米山奨学記念会 シンボルマーク ***



重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」です。外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた信頼関係を築き、世界の平和を願い“心”を育てるといふ、事業創設の願いが込められています。手は、そうした“心”を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。



地区防災対策委員会
委員 鳩山 佳恵様 (一宮北RC)
「南海トラフ大地震に備えて」

防災対策委員会は、神野ガバナー年度(207-2018)に愛知県防災部とロータリー2760地区が相互協力に関する協定を締結したことを端に発し、2020年4月県防災部訪問・相互協力の確認、2020-2021年度地区に防災対策委員会を新設、2021-2022年度に委員の構成を8分区に拡大スタートしました。今回の取り組みとして、南海トラフ大地震にフォーカスします。

南海トラフ大地震は、静岡県駿河湾から宮崎県日向灘まで伸びる海溝「南海トラフ」を震源域とする海溝型地震であり、日本の陸側のプレートと地下に沈み込んでいるフィリピン海プレートの境界面における大きな滑りが原因とされています。

政府の地震調査委員会によれば、今後30年以内に起きる確率が、70%~80%といわれています。

そんな中、皆さんは、地震という大きな災害に備えていますか？

大地震が発生した際、みなさんは自衛隊や警察、自治体に助けてもらえると考えていると思います。でも、それら公の助けで食料や寝場所が提供される避難所が実際に設置されるのはおよそ3日後から一週間後です。その3日間をどのように生き延びますか？また、3日生き延びる前提の、震災発生時の建物崩壊や家具の転倒などからどのように身を守りますか？

例えば大規模な地震による犠牲者の多くは、地震発生直後の建物崩壊や家具転倒によるものであり、震災前に日頃の対策を考えておく必要があります。

日頃の対策の例を3つ例示します。数字は何れも政府の被害想定数です。

- ①昭和56年以前の耐震基準で建築された建物の耐震化を推進することにより、建物崩壊による死者数65,000人が80%減の約13,000人に大きく減少すると考えられる。
- ②家具の転倒・落下防止対策が進むことにより、家具転倒・落下による死者数4,400人が約60%減の1,600人と推定される。
- ③地震時の電気火災発生を抑制するブレーカー設置を促進することで死者数14,000人が6,300

人に大きく減少されると推計できるとのことです。これに加えて、地域のハザードマップの確認、非常用持ち出し品の備え、食料・水の備蓄も必要です。

歴史的な考察からも、M8~9クラスの南海トラフ地震は必ず発生するもので、問題は「発生するかどうか？」ではなく、「いつ発生するか」という事です。30年以内に、という事ですが、もしかしたら、明日かも知れないのです。南海トラフ大地震について、政府は、死者23万人、経済被害220兆円との想定をしています。その大きな被害を、少しでも減らすべく、日頃から防災への意識を持ち、災害に備えましょう。



地球の内部構造
地殻 厚さ20km
マントル 厚さ2900km
外核 厚さ2100km
内核 厚さ1200km

超広域震災
南海トラフ地震 (知の可能性のある地震)
南海地震の単独・2連動、最大クラスの地震
M8から9クラスの地震の発生率:70%程度
住宅や文化財の被災が懸念
海溝直下の地震

日本海溝・千島海溝 周辺海溝型地震
横断糸の地震 (M7.8程度):30年以内の地震発生確率:30~40% など
我が国の中核機能の被災が懸念

直轄直下地震
M7クラスの直下地震
海溝直下域におけるM7クラスの地震の30年以内の発生確率:70%程度

M8クラスの海溝型地震

南海トラフ 確率上昇
M8~9級 30年以内70~80%に

政府の被害想定(2011年)を踏襲し、南海トラフ地震発生時の被害想定を再評価した。南海トラフ地震発生時の被害想定(2021年)は、死者23万人、経済被害220兆円と想定されている。南海トラフ地震発生時の被害想定(2021年)は、死者23万人、経済被害220兆円と想定されている。

次回 2021年10月27日(水)の例会予定

例会変更

「創立31周年記念例会」

18:00~ 一宮商工会議所ビル3Fホール